

関西電力管内における平成27年度夏の電力需給実績等について

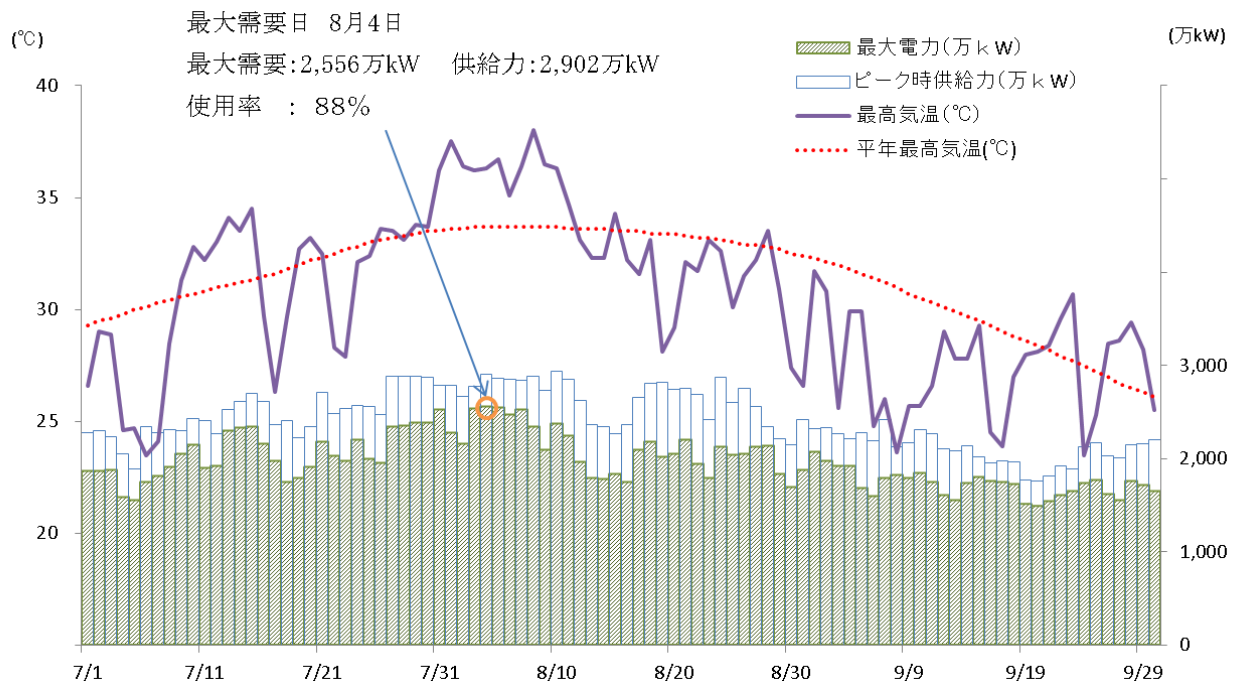
平成27年10月29日
関西広域連合エネルギー検討会

関西電力管内における平成27年度の夏の電力需給実績や対策の実施状況は、以下のとおりである。

1 電力需給実績の概要

- 電力需給見通しの検証の際には、ピーク時の需要を2,791万kW、これに対する供給力2,875万kW（予備率3%）を見込んでいた。
- 今夏の気温については、8月上旬に日最高気温35℃以上の猛暑日が続いたが、期間を通してみると日最高気温が平年より低い日が多かった。
- 今夏は、昨夏同様（平成22年度夏比▲13%）の節電の着実な実施を呼びかけ、期間平均の節電等の実績量は約▲17%となった。
- これらのことから、今夏の最大需要実績は8月4日（火）16時台の2,556万kW（電力需給見通しの想定より▲235万kW）、これに対する同日の供給力は2,902万kWで、使用率は88%であり、電力需給は期間を通して安定して推移した。

今夏の電力使用実績・供給力と最高気温の推移



2 電力需給対策の概要

<節電の呼びかけ>

- 期間 平成27年7月1日（水）～平成27年9月30日（水）の平日
（8月13日（木）、14日（金）を除く）
- 時間 9：00～20：00
- 内容 昨夏同様（平成22年度夏比13%減）の節電の着実な実施

主な取組

取組の種類	内 容
呼びかけ	<p>〔全般〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成府県市の広報誌・ホームページ・メールマガジン、テレビ・ラジオ、街頭広告施設等の活用 ・ 公共施設、集客施設等での節電ポスターの掲示 ・ 関西夏のエコスタイルの推進 <p>〔家庭〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 節電要請期間初日における一斉街頭呼びかけ（近畿経済産業局、関西電力と連携実施） ・ 公共施設、集客施設等での家庭向けの節電チラシの配布、ホームページ掲載 ・ 節電の取組を含むキャンペーン、チャレンジ活動の実施 ・ 各種イベント、映画、地域集会とのタイアップ等によるPR ・ 関西経済連合会と連携した企業従業員家庭への働きかけ <p>〔事業者〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者向けの節電チラシの配布、ホームページ掲載 ・ 関係団体の会報誌、ホームページに節電要請の掲載 ・ 節電・省エネ対策への補助・融資制度のPR ・ 省エネセミナーの開催、事業者訪問による節電要請
家族でお出かけ 節電キャンペーン <small>※夏の昼間に家庭の電気を消して家族全員で身近な施設に出かけることを呼びかけ</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美術館や博物館、ショッピング施設、飲食店、スポーツ施設などに、割引やプレゼント、特別企画、イベント等の協力を得るとともに、関西電力の「みる電 出かけて COOL プロジェクト」と連携して実施。 ・ 電車バス等の公共交通機関、公共施設・集客施設等でキャンペーンチラシの配布やポスターを掲示 ・ 環境省のクールシェア事業と連携して周知

<p>率先取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明やエレベータの間引き、空調温度管理の徹底、OA機器等の使用時の節電設定等による電力使用量の削減 ・ ピーク時間帯の上下水道設備等の使用電力削減 ・ LED照明やLED信号機、省エネタイプの機器の率先導入 ・ 見える化設備やBEMSの導入、省エネチューニング等による電力需要の抑制 ・ 関西夏のエコスタイルの徹底 ・ ノー残業デー、サマータイムの実施
<p>電力需給ひっ迫を想定した対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 万一の電力需給ひっ迫時の緊急連絡体制を整備

<参考：関西電力の取組>

○ 日常的な取組

- ・ 関西電力管内全自治体への今夏の需給および対策の説明の実施
- ・ 自治体及び近畿経済産業局と連携した節電PRの実施
- ・ 火力発電設備の保守等の強化（異常兆候の早期発見・計画外停止時の早期復旧等）
- ・ ホームページやフェイスブック、検針票裏面等を活用した節電のお願いや、ホームページ等による電力需給状況のお知らせ
- ・ 電気使用量のお知らせサービス（はぴeみる電）の登録者拡大による節電、省エネの促進
- ・ 計画調整特約によるピーク時の負荷調整等

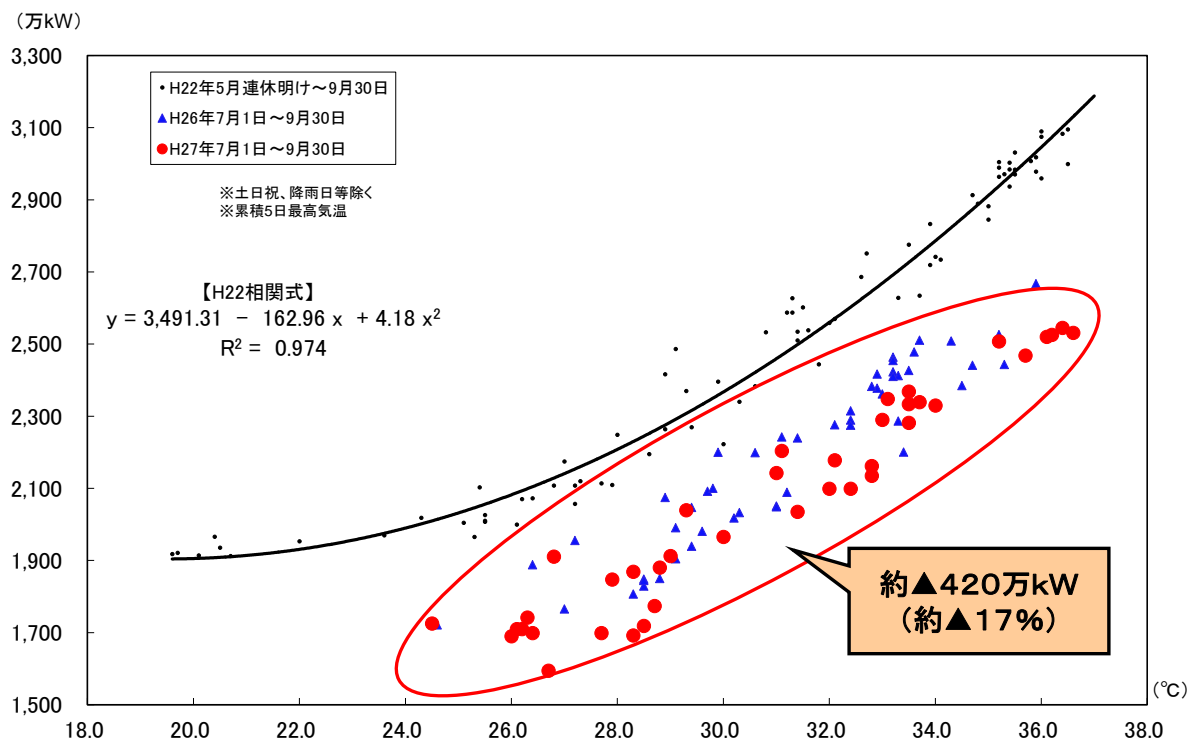
○ 需給ひっ迫時の取組

- ・ メールによる自治体・顧客への連絡体制の整備
- ・ 卸電力取引所からの調達や他電力会社からの更なる応援融通など供給力の最大限確保
- ・ 瞬時調整特約や通告ネガワット特約を活用した需要抑制
- ・ BEMSアグリゲータとの協業による需要抑制
- ・ はぴeみる電の対象者へ節電のお願い・協力企業クーポン（割引・ポイント付与等）送付による需要抑制の取組

3 期間中の節電等実績について

- 14時台の電力需要について、今夏と平成22年度夏を比較すると、期間平均の節電等の実績量は平成22年度夏比約▲17%（約420万kW）であり、昨夏実績を上回る需要の減少が確認された。

14時台における電力需要の平成22年度夏との比較



〔参考〕

○今夏のピーク時間帯（14時台）における分野別電力の減少量

	平成22年度夏 からの減少量	平成22年度夏 からの減少率
産業	約▲155万kW	約▲15%
業務	約▲195万kW	約▲20%
家庭	約▲70万kW	約▲14%
計	約▲420万kW	約▲17%

出典：関西電力資料

○今夏の計画外停止等の状況

- ・姫路第二発電所1～6号機（応急対策工事前の各ユニット定格出力48.65万kW）の蒸気タービンの応急対策工事が6月11日から実施され、3、4号機は7月17日、1、2号機は7月21日、6号機は8月10日、5号機は9月28日から運転開始。
- ・7月9日～7月13日 海南3号機（60万kW）停止（給水ポンプ出口弁の損傷）
- ・7月17日～7月27日 御坊1号機（60万kW）停止（電気集じん器への浸水）
- ・9月8日～9月11日 海南2号機（45万kW）停止（起動系統弁の動作不良）
- ・9月29日～10月9日 赤穂1号機（60万kW）停止（ボイラからの漏水）